目 次

目 次

USA/GB

1 はじめに &パッケージの内容

1.1 はじめに

この度は、SIGMA SPORT®のサイクルコンピュータをお買い求めいただき誠にありがとうございます。ROX 8.1は、サイクリングの必需品としてこの先末永くお客様のお役に立つことでしょう。どうぞ、この取扱説明書の指示をよくお読みになり、お客様の新しいサイクルコンピュータのさまざまな機能について習得してください。

多彩な機能を備えるSIGMA ROX 8.1はトレーニングに役立つさまざまな情報を走行中や走行後に確認することができます。

➙ 走行（スピード・時間・距離など）についての情報

➙ お客様の走行場所（標高・勾配など）についての情報

➙ お客様の身体状態（心拍数・トレーニングゾーンなど）についての情報

➙ お客様の走行結果がグラフで確認できるよう、すべてのデータがPCに転送できます。

1.2 パッケージの内容

➙ SIGMA ROX 8.1
コンピュータ本体

➙ ケイデンス
トランスミッター

➙ スピード
トランスミッター

➙ R1トランスミッター
チェストベルト

※ 着け心地のよい
CONFORTEX+素材

1.2 パッケージの内容

→ コンピュータ
本体用マウント

→ マグネット、
装着具（Oリング、
結束バンド）

USA/GB

2 SIGMA ROX 8.1本体、および、アクセサリーの取付け

イラストによる部品の取付説明書が折り畳みシートになって同梱されていますのでご覧ください。

2.1 マウントの取付け

2 3 4 5

→ ハンドルバー、または、ステムに取り付けます。

→ 黄色のフィルムをはがしてください。

2.2 スピード/ケイデンス トランスミッターの取付け

6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16

→ 2つのトランスミッターは結束バンド（常時装着用）で締めるか、または
Oリングで取り付けます。

→ トランスミッターとマグネットの間隔が12mm以下になるように取り付け
てください。

2.3 マグネットの取付け（スピード/ケイデンス トランスミッター用）

17 18 19

2.4 SIGMA ROX 8.1本体をマウントに取り付ける

20

2.5 同期

SIGMA ROX 8.1が起動してアクティブ状態になると、スピード／ケイデンス／ハートレートのトランスミッターと同期可能になります。

スピードを同期している間、ディスプレイのスピード表示が点滅します。同期が完了するとディスプレイの点滅は消え、SIGMA ROX 8.1は現在のスピードを示します。

このときケイデンス・トランスミッターとチェストベルトは自動的に同期します。お気に入りA、またはBに登録されている場合は、同期が完了したときそれぞれの画面の上段に数値が表示されます。

2.5.1 スピードの同期

スピードを同期するには2通りの方法があります。

➞ 自転車で走行を始めます。数回ホイールが回転したあとに、本体受信機とトランスミッターが同期します。

➞ 速度表示<kmh/mph>の点滅が止まるまでフロント・ホイールを回転させます。

さらに、ROX 8.1では本体で同期を行うことが可能です。

同期をやり直すときは本体右下のボタンを押し続けてください。ディスプレイには“Press Synchro Reset button for 2 seconds（同期リセットボタンを2秒間押し続けてください）”と表示されます。

2.5.2 ケイデンスの同期

ケイデンスを同期するには2通りの方法があります。

➞ 自転車で走行を始めます。数回クランクが回転したあとに、本体受信機とトランスミッターが同期します。

➞ 現在のケイデンスが表示されるまで、ペダルを上下に動かします。

2.5.3 チェストベルトの同期

チェストベルトを装着します。

SIGMA ROX 8.1に近づくか、または、自転車に乗ると、本体受信機は通常数10秒以内でR1トランスミッター チェストベルトと同期し、あなたの現在の心拍数がディスプレイに表示されます。

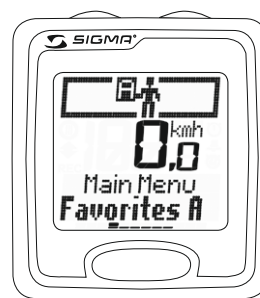
3 SIGMA ROX 8.1の概要
3.1 初期起動

SIGMA ROX 8.1をお買い上げいただいたときは、スリープモードになっています。

いずれかのボタンを5秒間押し続けると、SIGMA ROX 8.1が起動します。その後、画面の指示に従ってください。

いずれかのボタンを
5秒間押し続けます。

+/– ボタンで言語を選び
“保存”を押します。

メインメニューの
“お気に入りA”に
ジャンプします。

3.2 SIGMA ROX 8.1のナビゲーション機能について

SIGMA ROX 8.1には最大5つのメニュー階層があります。SIGMA ROX 8.1のメニューとサブメニューのナビゲーションについては3.5章のツリー図を参照していただくとよくわかります。

SIGMA ROX 8.1のメニューを使うときは、ナビゲーション機能を表示させると便利です。上部のどちらかのボタンを押すとナビゲーションが自動的に表示されます。

上部の左、または、右のボタンを押すと以下が可能です。

→ 一段下の階層に進む (ENTER)
→ 一段上の階層に戻る (BACK)
→ 設定メニュー内の別の階層に移動する (NEXT)
→ 設定を確認/保存する (SAVE/DONE)

ナビゲーションの階層で、2秒以内にもう一度クリックすると機能を確認できます。

SIGMA ROX 8.1のナビゲーションはデフォルト設定に戻すことで非表示にできます。SIGMA ROX 8.1の操作に慣れてナビゲーションを使う必要がなくなったときは設定メニューで非表示に変更してください。

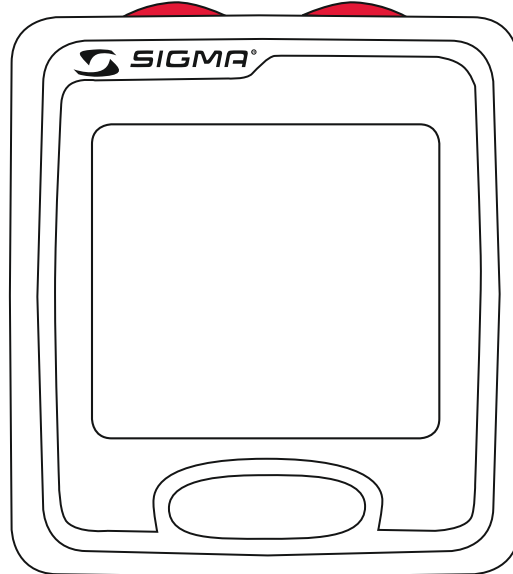
USA/GB

3.3 ボタンの配置と役割

ファンクションボタン 1

このボタンはサブメニューから移動するとき、または設定値を保存するときに使います。

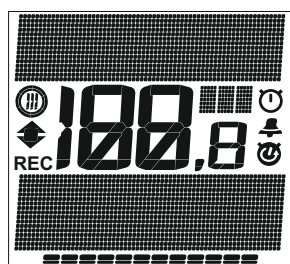
ファンクションボタン 2

このボタンはサブメニューに入るとき<ENTER>、または、上段の表示を変更するとき（機能の拡大表示<ZOOM>など）に使います。

（－）ファンクションボタン

メニューの項目を前後にスクロールする場合、または、表示された数値を減少/変更する場合に使います。

（＋）ファンクションボタン

メニューの項目を前にスクロールする場合、または、表示された数値を増加/変更する場合に使います。

3.4 ディスプレイのレイアウト（機能の表示）

SIGMA ROX 8.1のディスプレイは3つの主なエリアに分かれています。

USA/GB

3.4.1 上段の表示

この章ではメニューごとのさまざまな表示を説明しています。

3.4.1.1 お気に入りA/B

最大4種類の現在の数値がここに表示できます。

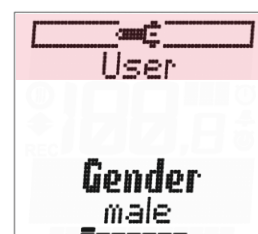
- ➞ 現在のあなたの心拍数（チェストベルト装着時のみ）
- ➞ 現在のケイデンス（トランスミッター取付時のみ）
- ➞ 現在の標高（常に表示）
- ➞ 現在の勾配（常に表示）

さらに、右上のボタンを押すたびに、1つの機能が上記の順に上段に拡大表示されます。

3.4.1.2 ナビゲーション

ナビゲーション有効時は、上部のどちらかのボタンを1回押すと、ナビゲーションが上段に現れ、選択可能なボタン機能が表示されます。あなたがSIGMA ROX 8.1とその機能に慣れてしまえば、設定メニュー（設定<Setting>→ユニット<unit>→ボタン情報<Button info>）でナビゲーションをOffにすることができます。

3.4.1.3 インフォメーション・バー

上段の表示部分「インフォメーション・バー」を見れば、あなたがどのメインメニューを開いているかが分かります。「走行値 <Trip Values>」「時間<Time>」「記録 <Data Memory>」「設定 <Setting>」の各サブメニュー画面でも同様に表示されます。選択しているメインメニューがディスプレイの上段に表示され、開いているサブメニューがその下に表示されます（右図はメインメニュー：設定 <Setting>/ サブメニュー：ユーザー <User>）。

3.4.2 中段の表示/アイコン表示

中段にはあなたの現在のスピードなどが表示されます。

以下のアイコンがディスプレイのこの部分に現れます。

 バイク I/バイク II のアイコン

 平均速度との比較

kmh 設定されている速度の単位 (kmh or mph)

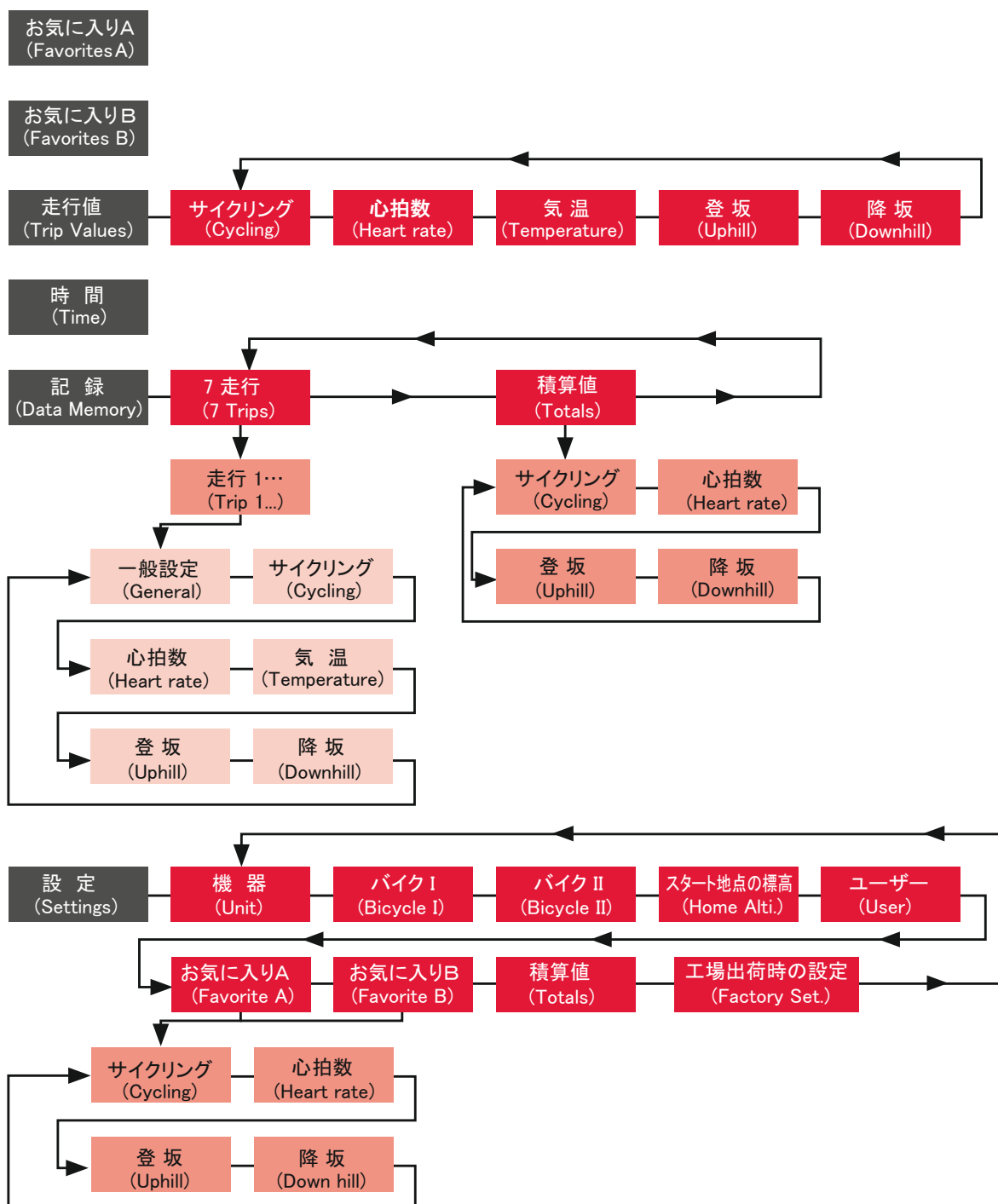
ストップウォッチ　アクティブ状態

カウントダウン　アクティブ状態

 アラーム　アクティブ状態

3.4.3 下段の表示

下段は、メニュー／サブメニューのどちらを開いているかに関係なく、あなたが選択し、アクティブ状態になっている機能が表示されます。

3.5 メニューツリー /SIGMA ROX 8.1の機能構造

※お気に入りA/Bにはそれぞれ最大10項目までの機能が登録できます。

USA/GB

3.6 SIGMA ROX 8.1の機能と特性

SIGMA ROX 8.1は非常に多くの機能を備えたサイクルコンピュータです。レースやトレーニングを振り返り、評価するのに役立ちます。

3.6.1 幅広い機能領域

SIGMA ROX 8.1は非常に多彩な機能を備えています。従来のサイクルコンピュータの機能に加え、心拍数、ケイデンス、標高、勾配計測の機能も備えているため、最も重要な走行データを提供してくれます。
SIGMA ROX 8.1は走行データを収集し、ユーザーが容易に評価できるよう設計されています(お気に入り、ナビゲーションレベル等)。

3.6.2 モーション・センサー

SIGMA ROX 8.1はモーション・センサーを備えています。このモーション・センサーは2つの異なる役割を果たします。

➞ オートスタート/ストップ
➞ 標高測定

モーション・センサーの働きにより、SIGMA ROX 8.1は自転車のわずかな動きを検出して起動します(SIGMA ROX 8.1が既にマウントに装着されていることが必要です)。そのためボタンを押して起動させる必要がありません。

モーション・センサーは自動的にその場の標高を修正し、スリープモードになる前にSIGMA ROX 8.1に数値を保存します。再起動の際は、気圧の変化に関わらず、直前に保存した標高データが適用されます。位置が変わったり、SIGMA ROX 8.1がマウントに装着されていないときは、モーション・センサーはSIGMA ROX 8.1の動きを記録し、気圧を一定のインターバルで測定します。
こうして測定された標高は次の場所に走行する間にSIGMA ROX 8.1上で更新されます。つまり、目的地に着いてコンピュータを調整する必要がないのです。

注意: エアコンの使用はSIGMA ROX 8.1の気圧測定に影響を与えますので注意してください。エアコンの稼動する場所で乗り始めると、測定が不正確になるおそれがあります。

3.6.3 お気に入り

SIGMA ROX 8.1にあなただけのお気に入りを設定することにより、走行中に何度もクリックして機能を確認する必要がなくなります。

あなたのお気に入りに、走行中に見たい機能を選んで保存することができます。

お気に入りごとに最大10項目まで保存できます。

この便利な機能を使って走行すれば、30の機能と5つの階層をクリックすることなく、あなたがカスタマイズした機能を見るだけで、走行に集中できます。

3.6.4 走行中の数値の非表示

走行中に必ずしも必要でない機能は非表示になります。お気に入りA/Bの機能とすべての走行データは走行中に自由に見ることができます。

その他のすべてのメインメニュー（走行記録<Data Memory>および、設定<Setting>は非表示になります。

3.6.5.1 7回分の走行記録

走行記録<Data Memory>には、SIGMA ROX 8.1のディスプレイに示されるほとんどの走行データを選択して保存することができます。

また、7回分までの走行データを保存することが可能です。

3.6.6 PCインターフェイス

SIGMA ROX 8.1はPC互換機なのでPCに接続して使用できます。オプションのドッキング・ステーションを使ってSIGMA ROX 8.1から保存したデータをPCに転送できます。またPCからSIGMA ROX 8.1をプログラムすることも可能です。SIGMA SPORT®のソフトウエアを使ってPC上で適切な設定値を入力し、あなたのサイクルコンピュータにデータを転送すれば、すべてのメニュー階層にわたって、クリック不要で素早く簡単にSIGMA ROX 8.1の設定ができます。

USA/GB

4 初期動作

4.1 スリープモードの解除

SIGMA ROX 8.1は自転車の動きを検出するたびにスリープモードからアクティブ状態になります。

SIGMA ROX 8.1がマウントに取り付けられていない場合は、いずれかのボタンを押せば起動します。

4.2 SIGMA ROX 8.1の機能の範囲

➙ SIGMA ROX 8.1は多彩な機能をもつサイクルコンピュータです。SIGMA ROX 8.1は従来の機能に加え、ケイデンス、心拍数、標高、勾配を測定します。

➙ バイク、心拍数、標高に関するすべての機能は下位のメニュー階層に分けられ、そこで個々の機能を見ることができます。

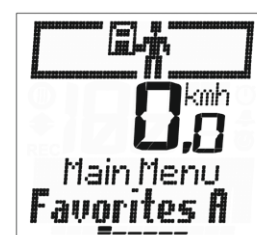
➙ スピード、標高、心拍数、ケイデンス、勾配の最新（現在）の数値はすべて、大きく見やすい表示になっています。

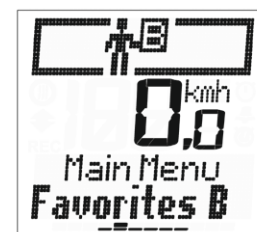
➙ SIGMA ROX 8.1は、従来のサイクルコンピュータの特性も継承しています。スピードトランスミッターの機能による2つのホイールサイズの自動検出や、オートスタート/ストップ、標高調整の設定（3地点）が可能です。

5 機能の説明
5.1 お気に入りA／B

最大10項目までの機能がお気に入りAとBに保存できます。どちらも自由にカスタマイズできます。
予めプログラムされているお気に入りの設定は平坦な道（A）と山道（B）です。

お気に入りA(平坦な道) ― 予め設定されている機能

→ 走行距離
→ 走行時間
→ 平均速度
→ 最高速度
→ 消費カロリー
→ 最大心拍数に対する現在の心拍数割合（%）
→ パワー
→ ストップウォッチ
→ 現在の気温
→ 時刻

お気に入りB（山道） ― 予め設定されている機能

→ 走行距離
→ 走行時間
→ 平均速度
→ 最高標高
→ アップヒル高度
→ 登坂走行距離
→ 上昇率
→ パワー
→ 最大心拍数に対する現在の心拍数割合（%）
→ 時刻

5.2 サイクリングの機能

サイクリングに関する機能はすべて、"Trip Values/Cycling"のメニューで確認できます。以下は"Trip Values/Cycling"のサブメニュー項目です。

→ 走行距離
→ 走行時間
→ 平均速度
→ 最高速度
→ 指定区間の走行距離 +/−
→ 平均ケイデンス
→ 最大ケイデンス
→ エクスパンション
→ 平均エクスパンション
→ パワー
→ 平均パワー
→ 最大パワー

5.2 サイクリングの機能

独立した距離カウンター機能（distance+ または、distance−）を備えており、区間ごとに使います。
この距離カウンターは、インターバルトレーニングや道路地図に従った走行時に有効で、走行前に設定しておくことが可能です。また、メインメニューを開かなくても＋から−に変更することができます。

エクスパンション

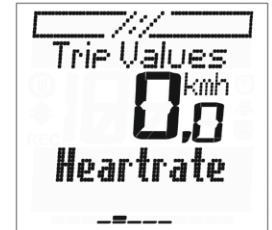
エクスパンション値は、クランクが1回転して進む距離(m)を表します。お気に入りに設定すれば、走行中にいつでも確認できます。

大きなギアでケイデンスを低くして走行する場合、ペダリングの強度が高まります。反対に小さなギアでケイデンスを上げるとペダリングの回転数が上がります。つまり、エクスパンションの情報は坂道を最適な力でペダリングする手助けになります。

また、過去のエクスパンション値を評価し、次回のトレーニングの指標として役立てることができます。

5.3 心拍数に関する機能

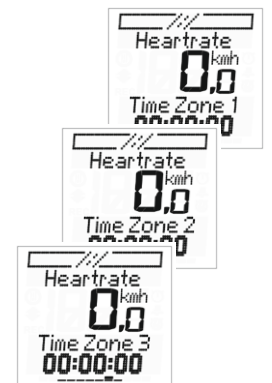
心拍数に関する機能はすべて<Trip Values/Heart rate>の画面で表示されます。以下はサブメニューの項目です。

➞ 最大心拍数に対する
　現在の心拍数割合（%）
➞ 平均心拍数
➞ 最大心拍数
➞ 心拍数ゾーン1での走行時間
➞ 心拍数ゾーン2での走行時間
➞ 心拍数ゾーン3での走行時間
➞ 消費カロリー

SIGMA ROX 8.1は3つの心拍数ゾーンを備えています。これらのゾーンは、<User>で設定を入力すれば自動的に算出されます。

予め設定されている3つの心拍数ゾーンは以下の通りです。

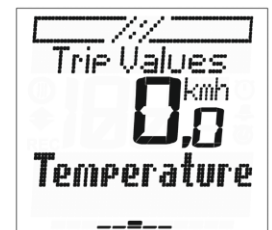
➞ゾーン1: 最大心拍数の55–70%
　　　　　リカバリートレーニング向け

➞ゾーン2: 最大心拍数の70–80%
　　　　　有酸素トレーニング向け

➞ゾーン3: 最大心拍数の80–100%
　　　　　パフォーマンス増強トレーニング向け

5.4 気温に関する機能

気温に関する機能はすべて<Trip Values/Temperature>の画面で表示されます。以下はサブメニューの項目です。

➞ 現在の気温
➞ 最低気温
➞ 最高気温

USA/GB

5.5 登坂走行に関する機能

登坂走行に関する機能はすべて<Trip Values/Uphill>の画面に表示されます。
以下は<Trip Values/Uphill>のサブメニューです。

- ➞ アップヒル高度
- ➞ 最高標高
- ➞ 登坂走行距離
- ➞ 登坂走行時間
- ➞ 平均登坂速度
- ➞ 平均登坂エクスパンション
- ➞ 上昇率
- ➞ 最大上昇率
- ➞ 平均勾配
- ➞ 最大勾配

上昇率は、1分間の垂直上昇速度/距離（m/ft）で示されます。この数値を見れば、あなたがどのくらいの時間で頂上にたどり着くかがすぐにわかります。これは速度と同様、走行中に随時数値が変わります。

5.6 降坂走行に関する機能

降坂走行に関する機能はすべて<Trip Values/Downhill>の画面に表示されます。
以下は<Trip Values/Downhill>のサブメニューです。

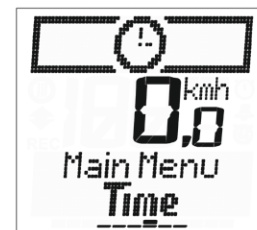
- ➞ ダウンヒル高度
- ➞ 降坂走行距離
- ➞ 降坂走行時間
- ➞ 平均降坂速度
- ➞ 下降率
- ➞ 最大下降率
- ➞ 平均勾配
- ➞ 最大勾配

5.7 時間に関する機能

時間に関する機能はすべて<Time>のメニューで表示されます。
以下の機能は<Time>のサブメニューです。

➞ 時刻
➞ 日付
➞ ストップウォッチ
➞ カウントダウンタイマー
➞ アラーム

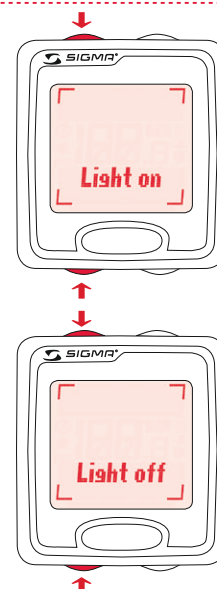
＜Stopwatch＞
ストップウォッチは右上のボタンでスタートとストップの操作ができます。また、左のボタンでストップウォッチを0にリセットできます。
ストップウォッチは走行タイムとは独立して作動するため、手動でスタートとストップの操作をする必要があります。

＜Countdown＞
予めカウントダウンをプログラムするには、まず右上のボタンを押します。<CHANGE>と表示されたら再び右上のボタンを押し、ディスプレイの指示に従って時間を設定してください。時間を設定したあと、右上のボタンを押すと、カウントダウンがスタート、またはストップします。左ボタンを押すとカウントダウンがリセットされます。

5.8 特殊な機能

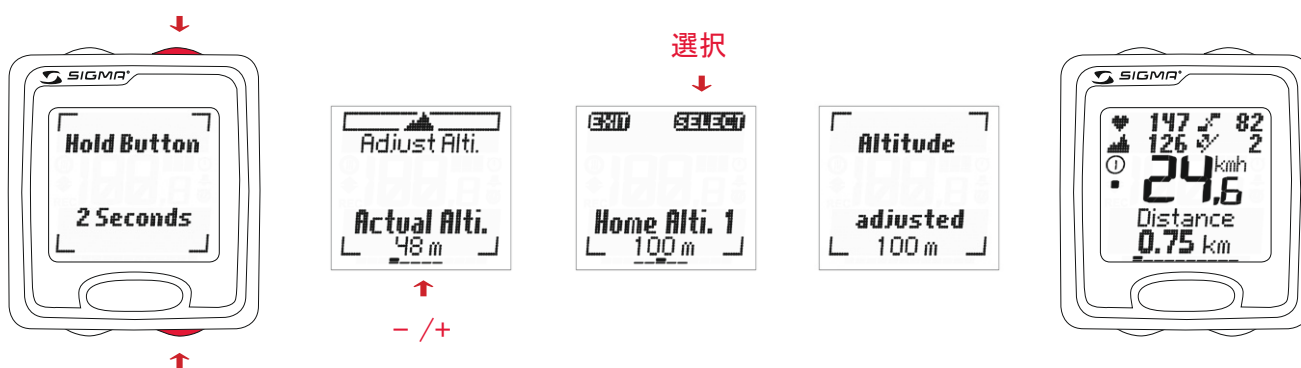
5.8.1　バックライトの機能（ライトマネジャー）

SIGMA ROX 8.1はライト・マネジャーを備えています。
バックライトは上下の左ボタンを同時に押すことにより、有効にも無効にもできます（右図をご参照ください）。“Light on”のとき、いずれかのボタンを押すたびにバックライトがオンの状態になり、3秒後に消灯します。再び上下の左ボタンを同時に押すとバックライトがオフになります。

注意：SIGMA ROX 8.1がスリープモードになった後はバックライトは自動的にオフになります。

USA/GB

5.8.2 標高の調整(キャリブレーション)

SIGMA ROX 8.1は気圧で標高を計測します。そのため天候の変化により気圧が変化すると標高も変化します。
この気圧の変化を補正するにはSIGMA ROX 8.1の参照標高を入力する必要があります(標高キャリブレーション)。

キャリブレーションは手動でも可能です。手動での調整方法については、以下の説明をお読みください。

SIGMA ROX 8.1は3つの異なるキャリブレーション機能により標高を調整します。

➞ 基準となる3拠点の標高
拠点標高とは、あなたのいつものスタート地点の標高です(通常あなたの住んでいるところです)。この数値は市街地図やその他の地図で確認することができます。SIGMA ROX 8.1で一度その数値を設定(Setting/Home Alti)すると、ほんの数秒でキャリブレーションが可能になります。SIGMA ROX 8.1は3つの異なる拠点の標高を設定できます。

➞ 現在地の標高
現在地の標高とは、あなたの出発地点の標高(山小屋やその他の場所など)に関係なく、現在あなたがいる場所の標高を指します。現在地の標高は、あなたがバイクで走行中に表示して確認します。

➞ 海面の気圧
もしあなたの居場所が不明な場合(現在地の標高表示が不可のとき)、現在地の標高を調整するために、海面の気圧を入力する方法があります。ウェブサイトや新聞、空港などで現在地の海面気圧を知ることができます。

注意：あなたの地域の気象台が示す気圧はその地点の気圧であり、海面気圧ではありません。SIGMA ROX 8.1の後部に気圧計測のための3つの穴があります。この穴は空いていなければなりません。そのため常にきれいにしておく必要があります。尖ったものでこの計測穴を突かないでください。

5.8.3 パワー計測機能について

SIGMA ROX 8.1に新たにパワー計測機能が加わりました。

パワー(Watt)は本体に読み込まれている公式に基づいて計算されます。ここで算出されるパワーとは自転車を動かすのに必要な力であり、ペダルに働きかける力ではありません。

パワーを表示させるには、自転車の重量、ユーザーの体重、身長、肩幅、バイクタイプの項目を本体に設定する必要があります。

パワー計測が可能になり、このことで色々なトレーニング分析をすることができます。

例えば、決まったトレーニングコースのパワー数値を確認でき、パワー値を上げて行くトレーニングを行った際、タイムがパワー値によってどれぐらい短縮可能になるか？逆にタイムを短縮した時にどれぐらいパワー値を上げて行かなければならないか？など様々なトレーニングの指標になります。

一番のメリットは、パワー数値がわかることでライダーの目標、指標を確認できることです。

6 SIGMA ROX 8.1の使い方

この章ではSIGMA ROX 8.1のあらゆる機能の効果的な使い方を説明しています。

6.1 お気に入りA/B

“お気に入りA/B <Favorites A/B>”は、あなたがご自身でプログラムできる最も重要な2項目です。2つの“お気に入り”は予め機能が設定されていますが、これらはいつでも変更可能です。2つの“お気に入り”のそれぞれに合計10の機能が保存できます。つまり、あなたは走行中に最大15の機能(現在の心拍数、現在地の標高、現在のケイデンス、勾配、速度、及び、お気に入りの10の機能)にアクセスすることが可能です。

USA/GB

6.3 個々の走行値の保存（最新の値）／リセット

SIGMA ROX 8.1で測定された走行値は手動で保存してください。自動では保存されません。これにより、あなたは注目したい走行だけを保存できます。走行データの削除/保存は、メインメニューの“お気に入りA <Favorite A>"、お気に入りB <Favortite B>"“走行値<Trip Values>”画面でのみ可能です。保存したデータは「7回分走行記録<7 Trips>」に格納されます。走行データを削除/保存するには下図にしたがって操作してください。

【保存してリセットする場合】

⬇戻る

⬇ リセット

YES ⬇

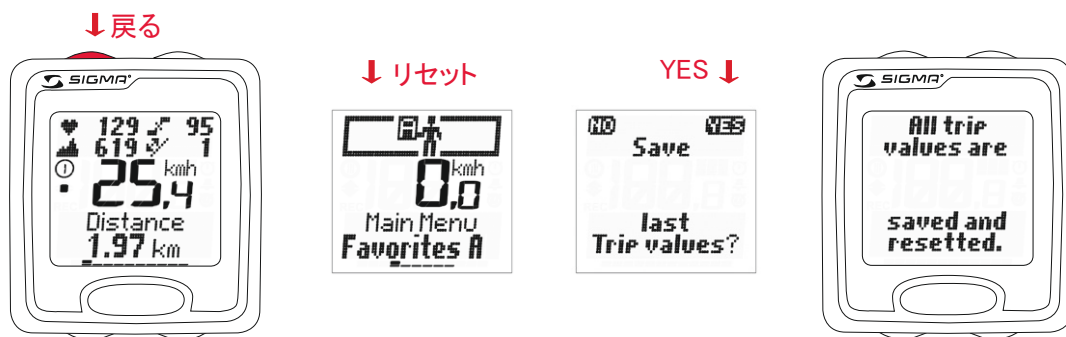
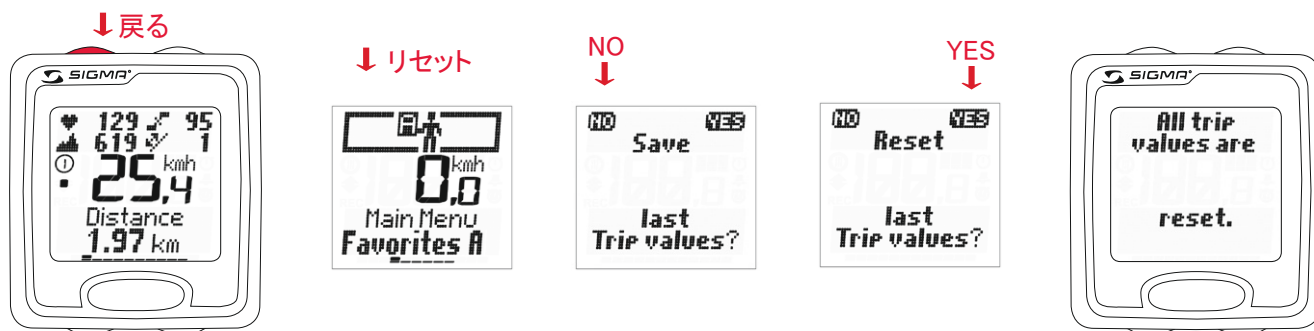
Save last Trip values?

【リセットのみの場合】

⬇戻る

⬇ リセット

NO ⬇

YES ⬇

走行データがすでに削除されている場合は、次のメッセージがディスプレイに表示されます。“Trip Values are already resetted（走行値はすでにリセットされています）”

注意：あなたが走行データを保存すると、最新の数値は自動的に0に設定されます。

7 設 定
7.1 はじめに

設定可能なすべての機能は、メインメニューの“設定<Setting>”に収められています。これらの機能は以下のサブメニューに分けられます。

- ➞ 1. ユニット
- ➞ 2. バイク I
- ➞ 3. バイク II
- ➞ 4. 拠点の標高
- ➞ 5. ユーザー
- ➞ 6. お気に入りA
- ➞ 7. お気に入りB
- ➞ 8. 積算値
- ➞ 9. 工場出荷時の設定

サブメニューのすべての機能は直接SIGMA ROX 8.1で設定することも、PCで設定してから本体に転送することも可能です。PCを使ってどのように本体に設定するかについては8章をご覧ください。

7.2 SIGMA ROX 8.1の設定

それぞれの機能の設定はどの場合も同様の手順で行います。基本的な設定方法を以下の例で説明します。

7.2.1 ユニット/時刻の設定 <Setting>→<Unit>→<Clock>

ENTER

－/＋

設定を完了

－/＋

次へ

－/＋

保存

7.2.2 ユーザー/生年月日の設定 <Setting>→<User>→<Birthday>

ENTER ⬇

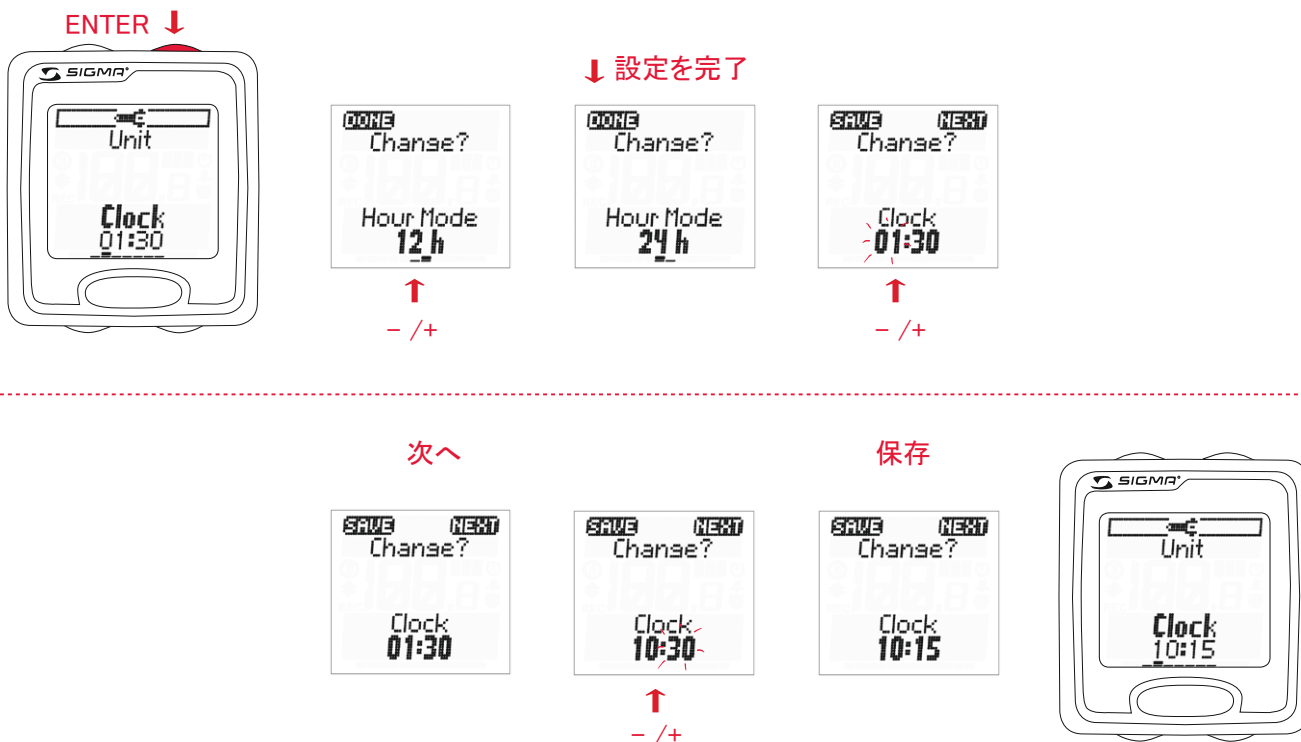
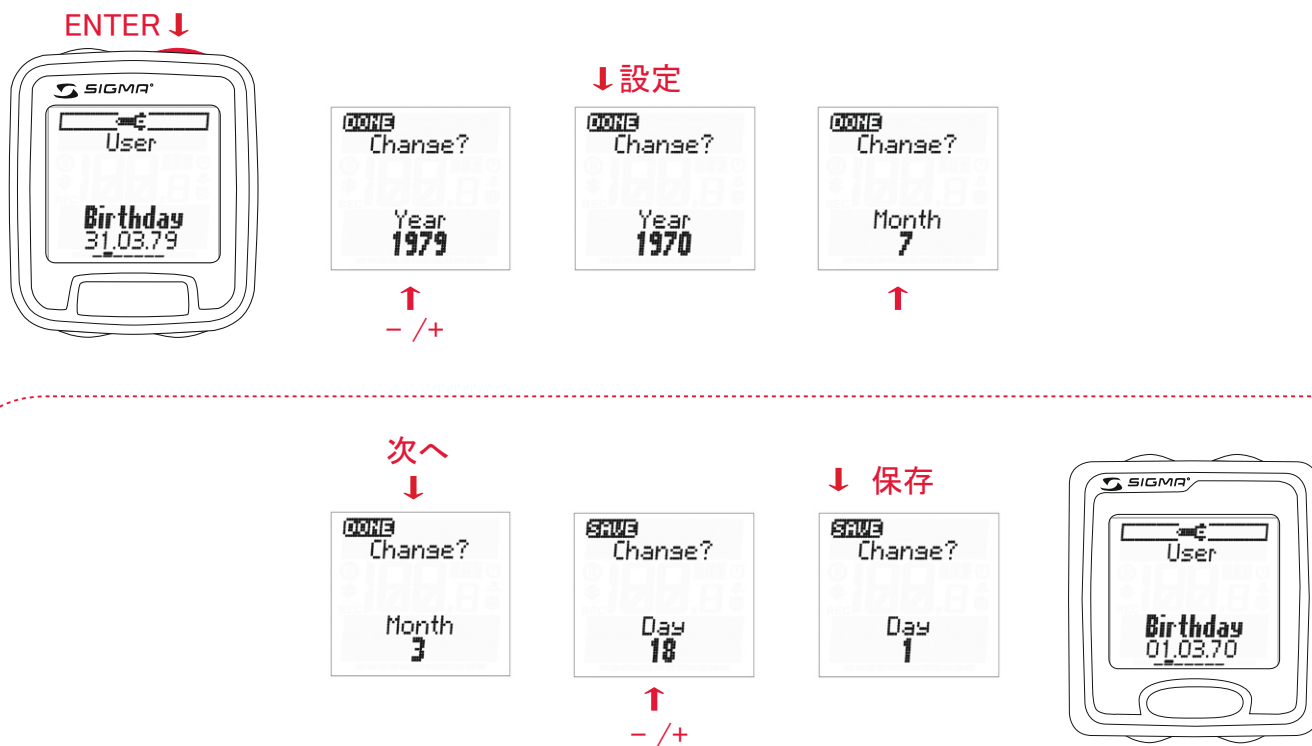
⬆
－ /＋

⬇ 設定

⬆

次へ
⬇

⬆
－ /＋

⬇ 保存

7.3 ユニット <Setting>→<Unit>→各種基本設定

- → 言語
- → 速度表示単位（Kmh/mph）
- → 時刻
- → 日付
- → 音量
- → ゾーンアラーム
- → ボタン音
- → マイネーム

7.4 バイク I

- → バイクタイプ（ロードバイク [ドロップハンドル・クロスバイク] / MTB）
- → ホイールサイズ
- → バイクの重量

7.5 バイク II

- → バイクタイプ（ロードバイク［ドロップハンドル・クロスバイク］／ MTB）
- → ホイールサイズ
- → バイクの重量

7.6 基準となる拠点の標高

- → 基準となる拠点の標高 1
- → 基準となる拠点の標高 2
- → 基準となる拠点の標高 3

7.7 ユーザー

- → 性別
- → 生年月日
- → 体重
- → 身長
- → 肩幅
- → 最大心拍数
- → 心拍数ゾーン 1
- → 心拍数ゾーン 2
- → 心拍数ゾーン 3

7.8 お気に入りA／B
7.8.1 お気に入りA

1. 走行距離
2. 走行時間
3. 平均速度
4. 最高速度
5. 消費カロリー
6. 最大心拍数に対する現在の心拍数割合（%）
7. パワー
8. ストップウォッチ
9. 現在の気温
10. 時刻

USA/GB

7.8.2 お気に入りB

1. 走行距離
2. 走行時間
3. 平均速度
4. アップヒル高度
5. 最高標高
6. 登坂走行距離
7. 上昇率
8. パワー
9. 最大心拍数に対する現在の心拍数割合(%)
10. 時刻

7.9 積算値
7.9.1 サイクリング

➞ バイク I の積算走行距離
➞ バイク II の積算走行距離
➞ バイク I の積算走行時間
➞ バイク II の積算走行時間

7.9.2 心拍数

➞ バイク I の積算消費カロリー
➞ バイク II の積算消費カロリー

7.9.3 登坂走行

➞ バイク I の積算アップヒル高度
➞ バイク II の積算アップヒル高度
➞ バイク I の最高標高
➞ バイク II の最高標高
➞ バイク I の積算登坂走行距離
➞ バイク II の積算登坂走行距離
➞ バイク I の積算登坂走行時間
➞ バイク II の積算登坂走行時間

7.9.4 積算降坂走行

- ➞ バイク I の積算ダウンヒル高度
- ➞ バイク II の積算ダウンヒル高度
- ➞ バイク I の積算降坂走行距離
- ➞ バイク II の積算降坂走行距離
- ➞ バイク I の積算降坂走行時間
- ➞ バイク II の積算降坂走行時間

7.10 工場出荷時の設定

SIGMA ROX 8.1はいつでも工場出荷時の設定にリセットできます。リセットすると積算値は0に設定され、すべてのデフォルト設定が保存されます。

工場出荷時の設定にリセットするには下図をご覧ください。

ENTER ⬇

Main Menu
Setting

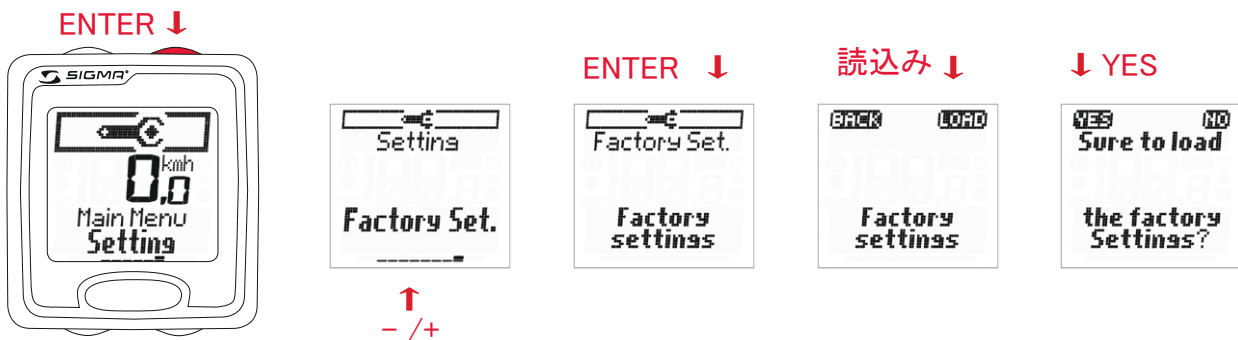
⬆
– /+

ENTER ⬇

読込み ⬇

BACK LOAD
Factory
settings

⬇ YES

YES NO
Sure to load
the factory
Settings?

一度SIGMA ROX 8.1を工場出荷時の設定に戻すと、サイクルコンピュータはスリープモードになります。スリープモードを解除するには3.1章の指示に従ってください。

8 重要事項/トラブルシューティング/FAQ
8.1 SIGMA ROX 8.1の防水機能（生活防水）

SIGMA ROX 8.1は防水加工が施されているため、雨天でも使用でき、ボタン操作も可能です。万一、SIGMA ROX 8.1の内部に水が入った場合は、バッテリーを取り外し乾かしてください。ユニットが乾いたあと、バッテリーを装着し、お試しください。復旧しない場合は内部に損傷を負った可能性がございます。その場合は有償でご交換、または、修理となります。

8.2 チェストベルトのお手入れ

CONFORTEX+素材のチェストベルトは洗濯機で洗濯できます。その際、手洗いの設定にしてください。市販の洗剤をご使用いただけますが、漂白剤や漂白剤が含まれる洗剤、石鹸や柔軟剤の使用は避けてください。また、ドライクリーニングはできません。乾燥機の使用を避け、平置きにして乾かしてください。濡れた状態で絞ったり、伸ばしたり、吊るしたりしないでください。CONFORTEX+素材は絶対にアイロンがけしないでください。

8.3 トレーニング前の注意

トレーニングプログラムを始める前に医師と相談することをお勧めします。これはもしあなたが心臓循環器系に問題を抱えている場合は特に重要です。ペースメーカーを付けている方は、チェストベルトを使用する前にSIGMA ROX 8.1とペースメーカーの互換性を医師に確認することをお勧めします。

8.4 トラブルシューティング

■スピードが表示されない

→サイクルコンピュータは正しくマウントに取り付けられていますか？

→本体、および、ブラケットの接点は錆びや腐食が起きていませんか？

→マグネットとトランスミッターとの距離は12mm以内ですか？

→マグネットの磁力は弱くなっていませんか？

→スピードトランスミッターのバッテリー状態を確認しましたか？

■ケイデンスが表示されない

→マグネットとトランスミッターとの距離は12mm以内ですか？

→マグネットの磁力は弱くなっていませんか？

→スピードトランスミッターのバッテリー状態を確認しましたか？

■心拍数が表示されない

→電極は十分に湿っていますか？

→バッテリー状態を確認しましたか？

■ディスプレイに表示されない

→SIGMA ROX 8.1のバッテリー状態を確認しましたか？

→バッテリーは正しく取り付けましたか？（+が上向きですか？）

→バッテリーはうまく接触していますか？コンピュータ本体側の接触金具は約30度の向きに起き上がっていなければなりません。そうでなければ注意して起こしてください。

■速度が正しく表示されない

→2つのマグネットが装着されていませんか？

→マグネットは正しい位置に取り付けられていますか？(トランスミッターと平行でトランスミッターの中央に位置していますか？)

→ホイール周長は正しく設定されていますか？

→トランスミッターは正しいバイク（バイクⅠ、または、Ⅱ）に設定されていますか？

■ディスプレイが暗い/くすむ

→気温が高すぎる(60°C以上)か、または、低すぎる（0°C以下）場所で使用していませんか？

■同期しない

→マグネットとトランスミッターの距離は適切ですか？

→トランスミッターのバッテリーは弱くなっていませんか？

→それぞれのトランスミッターの本体との距離を確認しましたか？

→ハブダイナモを使用時はトランスミッターの位置を変えてください。干渉する恐れがあります。

■電波受信エラー “TOO MANY SIGNALS” が表示される

→トランスミッターの距離を多くとり、いずれかのボタンを押してください。

USA/GB

9.5 FAQ（よくあるご質問）

Q. 自分でバッテリーを交換してもいいですか？

A. SIGMA ROX 8.1のすべての部品にはバッテリー・コンパートメントが設けられているため、ご自身でバッテリーを交換できます。付属のオープナーでコンパートメントを開いてください。バッテリー・コンパートメントを閉じる前に必ず密閉リングが正しい位置になっていることを確認してください。

Q. 別のサイクルコンピュータ（ハートレート・モニター）を付けた人と干渉が起こりませんか？

A. デジタル転送システムで信号がコード化されています。これにより、2つのユニットの干渉はほぼ完全に排除されます。受信機がトランスミッターと同期する場合は、他のSIGMA ROXを近づけないようにしてください。

Q. トランスミッターや受信機のバッテリーはどのくらいもちますか？

A. バッテリー寿命はユニットとライト・マネジャーの使用頻度によります。通常、SIGMA ROX 8.1のすべての部品（受信機と3つのトランスミッター）は最低1年（1日1時間の使用につき）はもつよう設計されています。※ただし、ご購入時はテスト用バッテリーですので、この限りではありません。また、電池は保証対象外です。

Q. 転送システムはDTSシステムと互換性がありますか？

A. SIGMA ROX 8.1の転送システムは従来のDTSシステムとは独立して開発されているので、互換性はありません。

Q. 同じ場所にいるのに標高が変更されるのはどうしてですか？

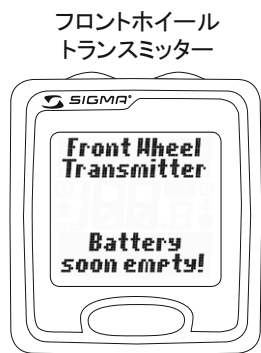
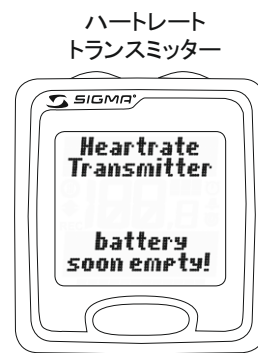
A. SIGMA ROX 8.1の標高計測は気圧標高計測に基づいています。気圧は常に変化するため、それに伴い、あなたが移動しなくても現在地の標高は変化します。しかしSIGMA ROX 8.1はスリープモードに入ったとき現在地の標高をロックする機能を備えています。そのため常にスリープモードに入る前の最新の標高がユニットに記録されており、それは定期的に変化するものではありません。

Q. なぜいつも現在地の標高を調整しなければならないのですか?

A. 気圧で現在地の標高を決定するため、気圧の変化に伴って現在地の標高も変化します。これを補正し、現在地の標高を誤差1m以内で読み直すために乗車前に毎回、参照標高をSIGMA ROX 8.1に入力する必要があります。参照標高を入力することをキャリブレーションと呼んでいます。

9 バッテリー交換

ユニットとそれぞれのトランスミッターのバッテリー状態は、バッテリー寿命が終わりに近づくとすぐに本体受信機に伝えられます。

ディスプレイは下図のように表示されます。別紙の「バッテリー交換の方法」をご覧ください。

10 技術情報
10.1 初期値／最小値／最大値

	単位	初期値	最小値	最大値
バイク				
速度	kmh/mph	0,0	0,0	199.8/119.8
走行距離	km/mi	0,0	0,0	9,999.99
走行時間	hh:mm:ss	00:00:00	00:00:00	999:59:59
平均速度	kmh/mph	0,0	0,0	199.8/119.8
最高速度	kmh/mph	0,0	0,0	199.8/119.8
個別距離計測 (+/–)	km/mi	0.0	–99.99	999.99
現在のケイデンス	rpm	0	0	180
平均ケイデンス	rpm	0	0	180
最大ケイデンス	rpm	0	0	180
現在／平均エクスパンション	m/r	0.0	0.0	10.0
平均登坂エクスパンション	m/r	0.0	0.0	10.0
現在／最大／平均パワー	Watt	0	0	2000

10.1 初期値／最小値／最大値

	単位	初期値	最小値	最大値
心拍数				
現在の心拍数	bpm	0	40	240
最大心拍数に対する現在の心拍数割合	%	0	17	150
平均心拍数	bpm	0	40	240
最大心拍数	bpm	0	40	240
心拍数ゾーン内の走行時間	hh:mm:ss	00:00:00	00:00:00	99:59:59
消費カロリー	kcal	0	0	99,999
気温				
現在／最低／最高 気温	°C/°F	実測気温	–10.0/14.0	+70.0/+158.0
標高				
現在地の標高	m/ft	0	–999	4,999/9,999
アップヒル／ダウンヒル高度	m/ft	0	–99,999	99,999
最高標高	m/ft	0	0	4.999/9.999
登坂／降坂走行距離	km/mi	0.0	0.0	9,999.99
登坂／降坂走行時間	hh:mm:ss	00:00:00	00:00:00	999:59:59
平均勾配	%	0	–99	99
最大勾配	%	0	–99	99
平均登坂／降坂走行速度	kmh/mph	0.0	0.0	199.8/119.8
上昇／下降率	m/min – ft/min	0	–499/–1,699	499/1,699
時間				
時刻	hh:mm	00:00	00:00	23:59
日付	dd.mm.yy	01.01.2006	01.01.2006	31.12.2099
ストップウォッチ	hh:mm:ss, 1/10s	00:00.0	00:00.0	59:59.9
カウントダウンタイマー	hh:mm:ss	00:00:00	00:00:00	09:59:59
アラーム	hh:mm	00:00	00:00	23:59

10.1 初期値／最小値／最大値

	単位	初期値	最小値	最大値
設定				
音量		3	1	5
ホイールサイズ I／II	mm	2,150/ 2,000	800	3,999
バイクタイプ	—	ロード(ドロップハンドル/クロスバイク) MTB	—	—
バイクの重量	kg/lb	20/40	5/10	50/100
基準となる地点の標高1/2/3	m/ft	0	−999	4,999/9,999
生年月日	dd.mm.yy	31.03. 1979	01.01. 1900	31.12. 2099
体重	kg/lb	70	20/40	199/399
身長	cm/inch	178/70	100/40	250/100
肩幅	cm/inch	48/18	40/15	80/30
最大心拍数	bpm	193	100	240
心拍数ゾーン1(しきい値)	bpm	106	40 Zone 2	lower −5
心拍数ゾーン2(しきい値)	bpm	135	ゾーン 1 lower +5	ゾーン 3 lower −5
心拍数ゾーン3(しきい値)	bpm	154	ゾーン 2 lower +5	ゾーン 3 upper −5
積算値				
バイクI/IIの積算走行距離	km/mi	0	0	99,999
バイクI/IIの積算走行時間	hh:mm	00:00	00:00	9.999:59
バイクI/IIの積算消費カロリー	kcal	0	0	999,999
バイクI/IIの積算アップヒル高度	m/ft	0	0	999,999
バイクI/IIの最高標高	m/ft	0	0	4,999/9,999
バイクI/IIの登坂／降坂 走行距離	km/mi	0	0	999,999
バイクI/IIの登坂／降坂 走行時間	hh:mm	00:00	00:00	9.999:59

10.2 気温/バッテリー

サイクルコンピュータ
気温 +60°C/-10°C
バッテリー型式 CR 2450 (Art. No. 20316)

スピードトランスミッター
気温 +60°C/-10°C
バッテリー型式 CR 2032 (Art. No. 00396)

ケイデンストランスミッター
気温 +60°C/-10°C
バッテリー型式 CR 2032 (Art. No. 00396)

チェストベルト
気温 +60°C/-10°C
バッテリー型式 CR 2032 (Art. No. 00396)

11 保証について

保証について:

当社は法律により定義される欠陥について、契約上のパートナーに対し責任を追います。但しバッテリーは保証の対象外です。保証を受ける場合は、SIGMA ROX 8.1をご購入いただいたディーラーにご連絡ください。

保証が認められた場合、製品を交換し、ご返送させていただきます。その時点での現行モデルのみ保証いたします。メーカーは常に技術仕様を変更する権利を有しています。

輸入元:
有限会社 アキコーポレーション
所在地:〒570-0039 大阪府守口市橋波西之町1-10-2

バッテリーはお住まいの自治体の指示にしたがって廃棄してください。

電化製品は行政機関、および、自治体の指示に従って廃棄してください。